

国際化学肥料ニュース（2020年2月）

肥料業界の2020年2月動態

- * 春節期間から拡大された新型コロナウイルスの影響を受け、中国尿素メーカーが窮地に陥っている。中国政府の「封城」と道路封鎖により、物流が遮断され、生産された尿素が運べないため、メーカーの在庫が膨らんでいる。中国窒素肥料工業協会の調査によれば、2月4日現在の尿素在庫量が120万トンを超え、1月23日に比べ、約126.42%増加した。また、2月7日の調査では、尿素在庫量が148万トンに達し、3日間だけで28万トンを増えた。

膨大の在庫を抱えるため、大手メーカーを中心に尿素減産の動きが広がった。2月1～7日の週間尿素生産設備稼働率が57.39%、前週より4.89%も下落した。

- * 2月中旬から中国の道路閉鎖が次第に解消され、物流が再び動き出した。国内の尿素、DAP、MAPと化成肥料の荷動きが盛んになり、需要量の急増と物流障害で生産と在庫が不足となり、すべての肥料に値上げが発生した。尿素では2週間で約100～200人民元/トン、MAPと化成肥料も約100人民元/トンの値上げとなった。但し、メーカーの増産などもあり、3月末には沈静化の見通し。

- * 新型コロナウイルスの影響で中国化成肥料メーカーが原料の入手と製品の出荷、従業員の休暇復帰が阻害され、2月1～7日の週間生産設備稼働率が30%未満である。特に新型コロナウイルスの発現地湖北省では、化成肥料の生産がほぼ全部止められ、稼働率が5%である。政府からの要請もあり、大部分の化成肥料メーカーの生産再開が2月中旬以降に延期された。

- * 中国新型コロナウイルスの影響が化学肥料の国際相場にも大きく影響を及ぼしている。尿素については、中国からの輸出が困難であるため、2月に入って国際価格が約5～10ドル/トン上がっている。

一番大きく影響しているのはりん安である。中国が世界最大のりん安輸出国であるため、2月中旬現在のDAPとMAP相場が1月中旬より10～20ドル/トンも上がった。

逆に塩化加里の相場が下がってきた。2月中旬現在の価格が1月末より約10ドル下がった。最大輸入国の中国は昨年末の在庫量が約400万トン、新型コロナウイルスの影響で、塩化加里の使用量が大幅に減る可能性もあり、今年6月までに新規輸入がなくても不足事態が起きない。

* 中国税関の統計データによれば、2019年中国が塩化加里 907.56 万トンを入力し、昨年より 162 万トンも多く、近年最多の輸入量である。主な輸入元はカナダの 325.6 万トン、ロシアの 217.6 万トン、ベラルーシの 187.4 万トン。この 3ヶ国で全輸入量の 80.6%を占める。

* 一部の国の 2019 年塩化加里輸出量と輸入量のデータである。

国名	時期	輸入量	輸出量	増減率
インドネシア	2019 年 1～12 月	280 万トン		-20%
フランス	2019 年 1～12 月	66 万トン		-16%
イギリス	2019 年 1～12 月	46 万トン		+39%
アイルランド	2019 年 1～12 月	18 万トン		+2.6%
スペイン	2019 年 1～12 月		63 万トン	-15%
ベラルーシ	2019 年 1～12 月		1,030 万トン	-5.8%

* オーストラリアの Salt Lake Potash 社は日本の三井物産と西オーストラリア州にある Lake Way プロジェクトの硫酸加里の販売について契約したと発表した。生産開始後の 5 年間で三井物産に毎年 22.4 万トン硫酸加里の販売権を譲渡するという内容である。三井物産はその硫酸加里を日本及び東南アジア、韓国、台湾などに販売する予定である。

Lake Way は西オーストラリア州の Goldfields 地域にあり、塩湖の面積が 270km² 以上、プロジェクトは 2019 年第 4 四半期から開発が始まり、2020 年第 4 四半期から稼働する予定で、完成すれば、年間 24.5 万トン硫酸加里を産出する計画である。

* 2 月最後の週に国際りん安の市況がやや回復した。インドがサウジアラビアから CFR310 ドル/トンで 3 万トン DAP、ヨルダンから 1.3 万トン DAP と 3.5 万トン MAP、パキスタンが中国から FOB290 ドル/トンで 5 万トン DAP を購入し、3 月上旬～中旬の船である。

西半球では、Mosaic が FOB312 ドル/トンで 1 万トン DAP と MAP をウルグアイに販売した。アルゼンチンも CFR333 ドル/トンでモロッコから 2.3 万トン DAP と MAP を購入した。新型コロナウイルスの影響で、中国からの輸出がやや困難となり、りん安の国際価格が若干上がった。

大手各社の営業業績

* ロシアの EuroChem 社は 2019 年の業績を公表した。化学肥料販売量が 13%増の 1104 万トン、そのうち窒素肥料販売量が 11%増、リン酸肥料と化成肥料販売量が 10%増、加里肥料販売量が Usolskiy 加里工場の稼働により 75%も増加した。売上高が 11%増の 62 億ドル、EBITDA が 2%増の 15.5 億ドル。

- * イスラエルの ICL 社が 2019 年の業績を公表した。死海にある塩化加里生産施設の点検と生産能力の増強工事により約 1 ヶ月の稼働が停止された原因で、加里肥料生産量が前年より 14.8%減の 415.9 万トン、販売量も 15.6%減の 413 万トン。売上高が 5.4%減の 53 億ドル、EBITDA が 3%増の 12 億ドル、純利益が 1%増の 7.6 億ドル。
- * ヨルダンの ACP 社が 2019 年の業績を公表した。加里肥料生産量が 2.1%増の 248.6 万トン、史上最高記録である。販売量が 1.3%減の 240.8 万トン。売上高が 4.5%増の 5.05 億ディナール（約 7.12 億ドル）、純利益が 21%増の 1.517 億ディナール（約 2.14 億ドル）ともに史上最高である。
- * カナダの Nutrien 社が 2019 年の業績を公表した。加里部門では肥料販売量が 12%減の 1,152.1 万トン、売上高が 2%減の 26.03 億ドル、窒素肥料部門では肥料販売量が 3%減の 1,027 万トン、売上高が 6%減の 23.81 億ドル、リン酸肥料部門では販売量が 12%減の 213 万トン、売上高が 21 の 7.9 億ドル。飼料部門と工業用薬品部門を含む総売上高が 6%増の 132.21 億ドル、粗利が 7%増の 32.4 億ドル、EBITDA が 2%増の 12.31 億ドルである。
- * アメリカの Mosaic 社が 2019 年の業績を公表した。加里部門では販売量が 11.4%減の 780 万トン、リン酸肥料部門では販売量が 2.4%減の 820 万トン、総売上高が 7.1%減の 89.06 億ドル、EBITDA が 13.47 億ドル、純利益が 10.7 億ドルの赤字である。赤字の理由はフロリダ州 Plant City リン酸肥料工場の永久閉鎖と Colonsay 加里鉱山の一時閉鎖期間の延長など 14.6 億ドルの一時損失が発生したことにある。
- * ロシアの PhosAgro 社は 2019 年の業績を公表した。肥料販売量が 7%増の 950 万トン、最高記録である。売上高が 6.3%増の 2481 億ルーブル（約 38 億ドル）、EBITDA が 0.9%増の 756 億ルーブル（約 12 億ドル）。
- * アメリカの CF Industries 社が 2019 年の業績を公表した。アンモニア生産量が 102 万トン、尿素生産量 494.1 万トン、UAN（尿素硝安液肥）676.8 万トン、硝安 212.8 万トン。総売上高が 3.6%増の 45.9 億ドル、EBITD16.2 億ドル、純利益が 50.9%増の 6.46 億ドル、史上最高の業績である。
- * アメリカの加里メーカー Intrepid Potash 社は 2019 年の業績を公表した。加里生産量が 4.7%減の 32.8 万トン、販売量が 12.4%減の 319 万トン、但し、加里肥料販売価格の上昇など、粗利が 13.6%増の 4350 万ドル、純利益が 1360 万ドル。

肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- * オーストラリアの Salt Lake Potash 社は西オーストラリア州 Goldfields 地域にある Lake Way 硫酸加里開発プロジェクトについて、面積 275ha のステージ 2 蒸発池と総延長 35km の鹹水引水路を完成した。当該プロジェクトは総面積 400ha の蒸発池を有し、年間生産能力 24.5 万トン硫酸加里を生産する。2020 年 12 月から試運転、2021 年 3 月末から硫酸加里を出荷するスケジュールである。
- * ナイジェリアの Dangote Fertilizer 社は世界最大級の尿素工場の試運転を開始した。当該工場はナイジェリアの Dangote Free Zone にあり、敷地面積 500ha、生産能力 300 万トン尿素/年、投資額 20 億ドル、イタリアの Siapem 社が設計、設備調達、建設監督 (EPS) を請け負い、インドの Tata Consulting Engineers 社はプロジェクトの管理コンサルタント (PMC) を担当する。
- * オーストラリアの Danakali 社がアフリカのエリトリアに推進している Colluli 硫酸加里プロジェクトのフェーズ 1 が順調に進み、予定通りに 2022 年稼働し始めると発表した。
- * オーストラリアの Trigg Mining 社は西オーストラリア州の Lake Rason 塩湖の硫酸加里プロジェクトについて、資源量調査が完了し、塩湖鹹水の硫酸加里濃度が 5080mg/l、採掘可能な硫酸加里資源量が 2500 万トンと発表した。

その他

- * イギリスの Sirius Minerals 社の臨時株主総会が開催され、投票の結果、80%以上の株式を有する株主が会社をイギリスの Anglo American plc 社に身売りすることに賛成した。Sirius Minerals 社は北ヨークシャーのポリハライト (加里を含む鉱物の 1 種) を開発する Woodsmith プロジェクトを進めているが、資金に底をつき、倒産する直前になった。Anglo American plc 社は 1 株式 5.5 ペニー (約 7.15 米セント) で、総額 4.049 億ポンドで買収することを提案した。なお、Sirius Minerals 社はすでに Woodsmith 鉱山プロジェクトに 10 数億ドルを投資したが、プロジェクトの完遂までなお 13 億ドルの資金が必要である。
- * アメリカの Mosaic 社が 2020 年 4 月 1 日から加里とリン酸塩事業を統合し、一つの部門で管理することを発表した。